

令和6年度 第5回細谷小学校学校運営協議会 議事録

全体進行：教頭
会議記録：教務

1 日程の確認

10:30～11:50 協議会
11:50～12:45 給食試食

2 開 会

3 あいさつ

(1) 会長あいさつ 川中子 源 会長

本年度最後の運営協議会となりました。給食をいただけるのが楽しみである。
よろしく申し上げます。

(2) 校長あいさつ 坂本 美保 校長

・先週、ボランティアさんへの感謝の会をした。合奏、歌を披露した。「ボランティア交流会」は初めての試みだったが、ボランティアのみなさんのつながりがさらに広がればと思う。

・昨年度、公民館主催で樹木剪定講座を本校で行った。今年は、学校主催で学区内の造園業者の方を講師にお招きして実施した。地域の方や保護者の方が8名参加し、実りのある講座となった。校庭の木々を剪定していただき、きれいになった。

・7年度公民館の出張講座を学校で行う予定である。これからは、学校が核となつての地域活動が行われていく。

忌憚のないご意見をいただけるとありがたい。

4 協 議

【議事進行：会長】

(1) 「令和6年度教育活動に関するアンケート」結果について アンケート結果の説明(教頭)

- ・資料を事前に配布させていただいた。
- ・項目ごとに特徴的なものについて、説明していく。

○自己有用感の高揚

自己有用感(自己肯定感)が低い。本校に限らない。

質問21は、昨年度と比べると、肯定的回答が減って、否定的回答が増えている。

→対策 学習ができると感じられることが自己肯定感を高められる。

その子の良さを見取り、褒めていくことが必要。相談ポストの設置を始めた。

○自ら学ぶ子の育成

質問5、質問6については、家庭との認識の差が大きい。

→対策 自主学習の取組の工夫をする。(目標や学習計画を設定させる。)読書については、取組の見直しを図りつつ、学校で読書をしていることを家庭にも示していく。(読書の記録を見ていただく等)

○心豊かな子の育成

生活のきまりが守られていないことが分かった。

→対策 特に守ってほしいきまりを重点的に指導する。

いじめについては、「しない、見逃さない」の質問に対して否定的回答が多い。

→対策 個々に対応が必要である。

○健康でたくましい子の育成

食事のマナーや身だしなみ等は、家庭で見える部分と学校での様子に差があるようである。

→対策 家庭との連携をさらに強化していく。

○協働体制の構築

質問25 教科担任制を導入し、取り組んだ結果、空き時間の確保やより専門的な指導ができていく。

(2) 「学校評価に基づく改善策」に係る学校関係者評価について

●質問 1 7 「本校は小中一貫教育を推進している」

質問 2 3 「本校は適切な教育方針を立て特色を生かした教育活動を進めている」について保護者と教職員の評価が大きく違う。

協議をする前に…「下野市小中一貫教育推進ハンドブック」を参考に小中一貫教育の目的、推進することでどんなことができるかを確認

協議内容

委員の皆様は小中一貫教育をどう認識しているか。

- ・内容を理解している方は少ない。
- ・何を狙っているのか。よく分からない。
- ・子どもを通して活動していることは理解していたが、目的や何を目指しているのかしっかりと伝えていくと良い。
- ・市で推奨しているようだが、保護者レベルまでは下りてきていない。

本校としては…

- ・何度か小中一貫教育について学校だよりでお知らせしている。「中学校へ行って、迷わず（不登校にならずに）学習できるようにするため」
- ・中学生に対して「小学生に伝えたいこと」「小学校でやっておけば良かったこと」などのアンケートをお願いしたこともある。小学生に還元している。
- ・平成 22 年から市では取り組んでいる。小中の先生方の交流をして、お互いの校種を理解している。しかし、家庭にはその取組を伝えきれていない。

どのように小中一貫を取り組んでいくべきか。

中 1 ギャップ解消のためなら

- ・中学校で何日か体験するのはどうか。行事に合わせて（運動会、文化祭、合唱コンクール）もいいかもしれない。
- ・具体的な動きが必要。今までと同じようなことをしていても、だめだろう。
- ・地域での縦のつながりも薄れているので、お祭りや奉仕活動にもっと小中学生が参加してほしい。

まとめ

本校の保護者には、中学校（大きな集団）に行くことに不安を感じている方もいる。中学校に行つてのギャップを軽減することが、本校の小中一貫の目的である。日頃の指導では、自信をもたせ、自己肯定感を高めるなどを行っていく。

他に、ご意見があれば、後日提出していただくとありがたい。

(3) 学校支援ボランティアについて

○ 方向性の説明（教頭）

「細谷っ子お助け隊」の代表に宇賀神さんに就いていただく。

- ・宇賀神さんには学校運営協議会委員にお助け隊代表として参加していただき、自治会長さんと連携を図れるようにする。

（例えば、ボランティア活動の募集を各自治会に依頼する等）。

- ・組織等は来年度、実際に活動しながら構築していく。

5 事務連絡

(1) 令和 7 年度学校運営協議会委員の継続、推薦について

- ・細谷地区、橋本地区の自治会長さんが交代
- ・宇賀神さんは、お助け隊代表として継続

(2) その他

- ・卒業式について 令和 7 年 3 月 1 8 日(火)午前 9 時 3 0 分開式
- ・入学式について 令和 7 年 4 月 1 0 日(木)午前 9 時 3 0 分開式

6 給食試食

7 閉会